

令和2年度本巢市教育委員会
事務事業の点検・評価結果報告書



令和3年8月
本巢市教育委員会

点検評価結果の概要

I. はじめに

1. 教育委員会事務事業の点検・評価制度の実施について

平成19年6月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会の活動状況・会議の実施状況や所掌する事務の管理・執行状況について点検・評価を行う際には、学識経験者の知見の活用を図ることも規定されています。

本巢市教育委員会では、平成27年度に策定した「第1期本巢市教育基本計画（後期）」目指す人間像を「自ら学び、求め、心豊かに自立する人間」と定め、園・学校、家庭、地域社会が互いに連携・協力して教育を推進し成果を上げてきました。しかし、幼児教育・学校教育・社会教育の施策や重点が別々に分けて設けられていたため、両者の関連性・連続性に欠けるという課題も残りました。

そこで「第2期本巢市教育振興基本計画（前期）」では、基本構造を大きく見直し、目指す人間像『ふるさとをルーツに、未来を切り拓き、たくましく生き抜く人間』を具現するために、幼児教育・学校教育・社会教育が共通の目標に向かって施策を実施していく構造となるよう改善を図りました。

教育を取り巻く社会の動向を踏まえ、令和2年度から5年間に重点的に取り組むべき施策を明らかにし、本市教育の一層の推進を図っています。

令和2年度の教育委員会事務事業の点検・評価は、この「第2期本巢市教育振興基本計画（前期）」に定める項目ごとに点検・評価することとし、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、ここにその結果を報告いたします。

II. 点検・評価の実施方法について

1. 評価の対象

教育委員会が令和2年度に実施した、会議・調査活動及び事務事業について点検・評価を実施する。

- ・ 教育委員会の活動状況、教育委員会会議の実施状況等
- ・ 本巢市教育振興基本計画の方針ごとの主要施策の執行状況、事務事業の執行状況

2. 評価の進め方

(1) 一次評価

教育委員会事務局において評価対象事業等の自己評価を実施する。

(2) 二次評価

一次評価を基に、評価委員（教育に関し学識経験を有する者等）により二次評価を実施する。

(3) 最終評価

教育委員会は、一次評価・二次評価の結果を踏まえ、最終評価を実施し報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表を行う。

3. 点検・評価の基準

点検・評価は、対象事業の必要性、効率性、有効性、達成度の視点から評価を行う。また、下記の評定基準により総合的に評価を行う。

<総合評価>

次の4区分により達成度の評価を行いました。

評 定	内 容
A	順調に達成しているもの
B	おおむね順調に達成しているもの
C	達成見込みであるが課題があるもの
D	順調でないもの

Ⅲ. 評価結果の概要

1. 教育委員会の活動状況

令和2年度の教育委員会の活動状況の点検評価は、下記のようになりました。

	評価
(1) 教育委員会の会議の活動状況	
①教育委員会の開催	A
②総合教育会議の開催	A
③点検・評価委員会の開催	A
(2) 調査活動の状況	
①学校訪問	A
②先進地視察	—
③市町村教育委員会連合会研究総会	—

2. 事務事業の執行状況

令和2年度の施策別の点検評価は、下記のようになりました。

方針1 統合された知・徳・体

・生きて働く学び	評価
施策(1) 確かで豊かな学びの育成 (6項目中の評価、A：4項目、B：2項目)	B
施策(2) 個性や能力を伸ばす教育の推進 (6項目中の評価、A：4項目、B：2項目)	B
施策(3) 「数学のまちづくり」の推進 (2項目中の評価、A：2項目、B：0項目)	A
施策(4) 英語教育の推進とグローバルな視野の醸成 (4項目中の評価、A：3項目、B：0項目、—：1項目)	A
施策(5) ICTを活用した情報教育の推進 (3項目中の評価、A：2項目、B：1項目)	B
施策(6) 指導者の資質向上 (4項目中の評価、A：3項目、B：1項目)	B

・豊かな心	評価
施策(7) キャリア教育の充実 (3項目中の評価、A：3項目、B：0項目)	A
施策(8) 地域ぐるみの道德教育の深化 (2項目中の評価、A：2項目、B：0項目)	A
施策(9) 人権教育の推進 (2項目中の評価、A：2項目、B：0項目)	A
施策(10) 心を動かす体験活動の充実 (5項目中の評価、A：3項目、B：0項目、—：2項目)	A

施策(11) 読書活動・図書館教育の充実 (3項目中の評価、A：3項目、B：0項目)	A
---	---

・健やかな体

評価

施策(12) 体力向上・健康増進を図る運動習慣 (6項目中の評価、A：2項目、B：3項目、－：1項目)	B
施策(13) 「ウォーキング・ランニングのまちづくり」の推進 (2項目中の評価、A：1項目、B：1項目)	B
施策(14) 質の高い学校給食提供・食育の推進 (3項目中の評価、A：2項目、B：1項目)	B
施策(15) 健康教育・命を守りきる教育の推進 (2項目中の評価、A：2項目、B：0項目)	A

方針2 安全・安心な園・学校、家庭、地域

評価

施策(16) 各園・学校や地域の特色を生かしたマネジメント (4項目中の評価、A：4項目、B：0項目)	A
施策(17) コミュニティ・スクールの発展 (3項目中の評価、A：3項目、B：0項目)	A
施策(18) 子供たちの成長を支える地域学校協働活動の推進 (3項目中の評価、A：2項目、B：1項目)	B
施策(19) いじめ・問題行動の未然防止 (3項目中の評価、A：2項目、B：1項目)	B
施策(20) 教育相談・特別支援教育・インクルーシブ教育の充実 (4項目中の評価、A：4項目、B：0項目)	A
施策(21) 困難を抱える家庭への教育支援の充実（教育の機会均等の確保） (3項目中の評価、A：3項目、B：0項目)	A
施策(22) 家庭教育への支援 (3項目中の評価、A：2項目、B：1項目)	B
施策(23) 幼・小・中の一貫教育 (4項目中の評価、A：4項目、B：0項目)	A
施策(24) 防災教育・安全教育の充実 (3項目中の評価、A：3項目、B：0項目)	A
施策(25) 園・学校、社会教育施設・環境の整備 (5項目中の評価、A：5項目、B：0項目)	A
施策(26) 「チーム学校」の推進と教職員の勤務環境の向上 (4項目中の評価、A：4項目、B：0項目)	A

方針3 ふるさとへの愛着と誇り

	評価
施策(27) 「ふるさと本巣市」を学ぶ教育の推進 (3項目中の評価、A:3項目、B:0項目)	A
施策(28) 社会参画力の育成・ボランティア教育の推進 (2項目中の評価、A:1項目、B:1項目)	B
施策(29) 本巣市を担うリーダー育成の推進 (2項目中の評価、A:0項目、B:0項目、-:2項目)	—
施策(30) 青少年健全育成の充実 (3項目中の評価、A:1項目、B:1項目、-:1項目)	B
施策(31) 歴史・文化活動の推進 (4項目中の評価、A:3項目、B:1項目)	B

IV. 点検評価結果の内容について

(1) 教育委員会の活動状況

評価

①教育委員会会議の開催

A

教育委員会会議の開催状況については、会議を13回、議案49件の審議を厳正に行いました。また、委員会終了後には、委員からの情報提供や、事務局からの事務事業の進捗状況その他の報告に関し、委員と事務局との意見交換を活発に行いました。

②総合教育会議の開催

A

地方教育行政法の改正により、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り教育課題を共有するため、平成27年度から設置が義務化となり、開催しています。

会議では、「教科専門指導員等の活用」、「幼稚園と小学校の連携」などについて、市長等と意見交換を行いました。特に令和2年度から新たに幼稚園に配属した小学校教員からの報告は、事業の効果が十分伺えました。

③点検評価委員会

A

令和元年度に実施した教育委員会事業についての点検・評価結果を協議し、報告書をまとめました。

(2) 調査活動の状況

評価

① 学校訪問

A

調査活動の状況等については、糸貫東幼稚園、真正幼稚園、本巣幼稚園、神海幼稚園、本巣小学校、真桑小学校、席田小学校、根尾小学校、本巣中学校、根尾中学校を視察し、学校教育(園)の現状を把握した他、学校現場から直接意見を聴くことで、教育現場の現状をそれぞれの角度から把握することができました。

② 先進地視察

新型コロナウイルスの感染症対策のため事業を控えました。

—

③ 市町村教育委員会連合会研究総会

新型コロナウイルスの感染症対策のため中止しました。

—

(3) 各施策における事務事業の執行状況

方針1 統合された知・徳・体

・生きて働く学び

施策(1) 確かで豊かな学びの育成

評価

1) 幼児教育において育む資質・能力をもとにした教育課程の創造	A: 4 ・ B: 0	A
2) 教科の本質に根ざした授業改善	A: 3 ・ B: 0	A
3) 「教科専門指導」の配置	A: 2 ・ B: 0	A
4) 思考力・判断力・表現力を身に付ける指導	A: 4 ・ B: 0	A
5) 個別最適化された学びを支える「本巣市型GIGAスクール」	A: 3 ・ B: 1	B
6) 生涯にわたり学び続ける場の充実	A: 1 ・ B: 1	B

施策(2) 個性や能力を伸ばす教育の推進

評価

1) 自発的な遊びの充実	A: 2 ・ B: 0	A
2) 学校における個性伸長学習	A: 2 ・ B: 0	A
3) 「やってみたい」「おもしろい」を引き出す機会づくり	A: 3 ・ B: 1	B
4) 中学校部活動	A: 3 ・ B: 2	B
5) 各種展覧会・コンクールの実施	A: 1 ・ B: 0	A
6) 生涯にわたる個性の伸長	A: 2 ・ B: 0	A

施策(3) 「数学のまちづくり」の推進

評価

1) 園・学校における数学教育の推進	A: 2 ・ B: 0	A
2) 社会教育における数学教育の推進	A: 5 ・ B: 0	A

施策(4) 英語教育の推進とグローバルな視野の醸成

評価

1) 幼・小・中一貫した英語教育の推進	A: 4 ・ B: 0	A
2) ALTとJTEの配置	A: 4 ・ B: 0	A
3) 実践的な英語活用能力の育成	A: 3 ・ B: 0	A
4) 大きく視野を広げ、世界から本巣市を見つめ直す青少年派遣事業	—	—

施策(5) ICTを活用した情報教育の推進

評価

1) 情報活用能力の育成	A: 2 ・ B: 2	B
2) プログラミング教育の推進	A: 3 ・ B: 0	A
3) 情報モラル教育の推進	A: 2 ・ B: 0	A

施策(6) 指導者の資質向上

評価

1) キャリアプランに応じた教職員研修	A: 4 ・ B: 1	B
2) 本巣市学校教育研究会における授業改善研修	A: 2 ・ B: 0	A
3) 研究指定実践校の指定	A: 2 ・ B: 0	A
4) 社会教育委員やスポーツ指導者の研修	A: 2 ・ B: 0	A

・ 豊かな心

施策(7) キャリア教育の充実

評価

1) 幼稚園におけるキャリア教育	A: 2 ・ B: 0	A
2) 学校におけるキャリア教育	A: 6 ・ B: 0	A
3) 家庭や地域、社会を巻き込んだキャリア教育	A: 2 ・ B: 0	A

施策(8) 地域ぐるみの道徳教育の深化

評価

1) 園・学校における道徳教育	A: 4 ・ B: 0	A
2) 家庭・地域と連携した道徳教育	A: 1 ・ B: 0	A

施策(9) 人権教育の推進

評価

1) 園・学校における人権教育	A: 5 ・ B: 0	A
2) 家庭や社会における人権教育	A: 5 ・ B: 0	A

施策(10) 心を動かす体験活動の充実

評価

1) 自分の五感で確かめ、命や平和について考える「広島平和研修」	A: 1 ・ B: 0	A
2) 仲間と共にやり遂げた達成感を味わう「プロジェクト・アドベンチャー(PA)」	—	—
3) 生き方を考える中学校での講演会	A: 3 ・ B: 0	A
4) 感動体験としての「中学校音楽会」	—	—
5) 心豊かで、安らぎとうるおいがあふれる芸術・文化を味わう文化ホール事業」	A: 2 ・ B: 0	A

施策(11) 読書活動・図書館教育の充実

評価

1) 本に親しみ読書を楽しむ学校図書館教育	A: 4 ・ B: 0	A
2) 子供の読書活動の推進計画	A: 5 ・ B: 0	A
3) 成人を対象とした読書活動の推進	A: 2 ・ B: 0	A

・健やかな体

施策(12) 体力向上・健康増進を図る運動習慣

評価

1)「強い心」を育むことを中核とした「生きる力を育むプロジェクト」の推進	A:4・B:1	B
2)体力や運動能力の向上	A:6・B:1	B
3)各種スポーツ団体の自主運営活動に向けた支援と団体間の連携	A:4・B:0	A
4)ライフステージに応じた健康づくりや生きがいづくりができる各種事業の設定とスポーツコミュニティづくりの推進	—	—
5)地域に貢献できるスポーツ指導者の発掘及び指導力向上のための研修及び活動の充実	A:2・B:0	A
6)総合型地域スポーツクラブの活動充実に向けた支援	A:0・B:1	B

施策(13) 「ウォーキング・ランニングのまちづくり」の推進

評価

1)体力や運動能力の向上を図るウォーキング・ランニングイベント	A:1・B:0	A
2)ウォーキング・ランニングの環境整備	A:3・B:1	B

施策(14) 質の高い学校給食提供・食育の推進

評価

1)質の高い学校給食の提供	A:4・B:0	A
2)園・学校における食育の推進	A:3・B:1	B
3)社会教育における食育の推進	A:1・B:0	A

施策(15) 健康教育・命を守りきる教育の推進

評価

1)保健安全教育を充実させるための体制の整備	A:4・B:0	A
2)各園・学校の保健安全教育の推進	A:3・B:0	A

方針2 安全・安心な園・学校、家庭、地域

・生きて働く学び

施策(16) 各園・学校や地域の特色を生かしたマネジメント

評価

1)各園・学校における「生きる力」の育成	A:3・B:0	A
2)義務教育学校「根尾学園(仮称)」の設立	A:2・B:0	A
3)児童生徒・保護者のニーズに応じた教育環境の整備	A:2・B:0	A
4)学校事務の共同実施	A:2・B:0	A

施策(17) コミュニティ・スクールの発展

評価

1)4つの本巣市型コミュニティ・スクールの設置	A:3・B:0	A
2)園・学校における学校支援推進委員会の活用	A:4・B:0	A
3)地域に開かれた園・学校運営	A:2・B:0	A

施策(18) 子供たちの成長を支える地域学校協働活動の推進

評価

1)地域の実態に即した「地域学校協働本部」の設置	A:4・B:0	A
2)公民館を生涯学習の拠点に位置付けた地域づくりの推進	A:0・B:1	B

3) ボランティアバンクによる人材の発掘と生涯学習活動の充実	A: 4 ・ B: 0	A
--------------------------------	-------------	---

施策(19) いじめ・問題行動の未然防止

評価

1) 園・学校におけるいじめの未然防止のための予防・開発的教育	A: 5 ・ B: 1	B
2) いじめ・問題行動の未然防止のための実態把握	A: 3 ・ B: 0	A
3) 関連機関や有識者との連携を図ったいじめの未然防止	A: 4 ・ B: 0	A

施策(20) 教育相談・特別支援教育・インクルーシブ教育の充実

評価

1) 教育相談の充実・外国人児童生徒への就学支援の充実	A: 5 ・ B: 0	A
2) 特別支援教育の充実	A: 4 ・ B: 0	A
3) インクルーシブ教育・ユニバーサルデザイン	A: 3 ・ B: 0	A
4) 不登校児童生徒への支援	A: 2 ・ B: 0	A

施策(21) 困難を抱える家庭への教育支援の充実（教育の機会均等の確保）

評価

1) 子育て家庭への様々な支援	A: 7 ・ B: 0	A
2) 小・中学校就学時の支援	A: 2 ・ B: 0	A
3) 留守家庭教室の充実	A: 2 ・ B: 0	A

施策(22) 家庭教育への支援

評価

1) 幼稚園における家庭教育	A: 2 ・ B: 2	B
2) 小・中学校における家庭教育	A: 4 ・ B: 0	A
3) P T A活動の推進	A: 2 ・ B: 0	A

施策(23) 幼・小・中の一貫教育

評価

1) 幼児教育における「遊び」の工夫	A: 2 ・ B: 0	A
2) 幼・小の滑らかな接続と連携	A: 4 ・ B: 0	A
3) 幼稚園教諭の人材確保・人材育成	A: 2 ・ B: 0	A
4) 小・中学校の円滑な接続	A: 3 ・ B: 0	A

施策(24) 防災教育・安全教育の充実

評価

1) 学校における防災教育・安全教育の充実	A: 3 ・ B: 0	A
2) 地域や家庭等と連携を図った防災教育・安全教育の充実	A: 5 ・ B: 0	A
3) 地域ぐるみの防災教育の充実	A: 3 ・ B: 0	A

施策(25) 園・学校、社会教育施設・環境の整備

評価

1) 園舎・校舎の施設建設・修繕	A: 2 ・ B: 0	A
2) 小・中学校体育館のエアコン設置	A: 2 ・ B: 0	A
3) 備品（学校管理備品・教材備品）や消耗品の整備・管理	A: 2 ・ B: 0	A
4) 安全な登下校のための「通学路点検」「見守りボランティア」	A: 3 ・ B: 0	A
5) 社会教育施設の整備	A: 2 ・ B: 0	A

施策(26) 「チーム学校」の推進と教職員の勤務環境の向上

評価

1) 教職員の適正な勤務時間と業務量の管理	A:4・B:0	A
2) 業務の軽減と一元化を図る校務支援システム	A:2・B:0	A
3) 中学校部活動における社会人指導者・休養日の設定	A:2・B:0	A
4) 勤務時間を自己管理する働き方の徹底	A:2・B:0	A

方針3 ふるさとへの愛着と誇り

施策(27) 「ふるさと本巢市」を学ぶ教育の推進

評価

1) 「ふるさと本巢市」について学びと発信	A:4・B:0	A
2) 「ふるさと本巢市」の偉人の生き方の学び	A:2・B:0	A
3) 「ふるさと本巢市」の文化遺産からの学び	A:3・B:0	A

施策(28) 社会参画力の育成・ボランティア教育の推進

評価

1) 「MSJ」「MSキッズ」活動の推進	A:2・B:0	A
2) 地域行事へのボランティア参加	A:2・B:1	B

施策(29) 本巢市を担うリーダー育成の推進

評価

1) 学校を中心としたリーダー育成	—	—
2) 市が主体となったリーダー育成	—	—

施策(30) 青少年健全育成の充実

評価

1) 青少年の健全育成に対する効果的な広報・啓発活動の推進	A:2・B:2	B
2) 子供が行事等の運営に参画し、マナーや社会のルールを学ぶことができるような地域づくりの推進	A:4・B:0	A
3) 海外に視野を広げる機会の設定と、青少年の豊かな国際感覚の育成	—	—

施策(31) 歴史・文化活動の推進

評価

1) 伝統文化の継承と継承者の育成	A:2・B:0	A
2) 各保存会、文化協会、文化団体、サークル等の活動の支援	A:2・B:0	A
3) 先人・偉人の調査・研究や歴史的文化資料の整備、保護・保存及び有効活用	A:4・B:0	A
4) 文化的な学習機会の充実と語りべボランティア等、人材の育成、地域文化の伝承活動の推進	A:4・B:1	B

V. 評価委員会からのご意見

教育委員会の活動状況及び事務事業の執行状況について、点検評価委員会において委員からのご意見を集約したので報告します。

1. 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の活動状況

① 教育委員会の開催

- ・総合教育会議の開催についてはどのような内容を話し合うのか、また回数は1回と決められているのか。何回開催が適切なのか。

② 総合教育会議の開催

・

③ 点検・評価委員会

・

(2) 調査活動の状況

① 学校訪問

・

② 先進地視察

・

③市町村教育委員会連合会研究総会

・

2. 事務事業の執行状況について

方針1 統合された知・徳・体

生きて働く学び

施策1 確かで豊かな学びの育成

1) 幼児教育において育む資質・能力をもとにした教育課程の創造

- ・園長先生のリーダーシップのもと、本巢市の園が努力されていることが伝わってきます。
- ・小学校の教員は、幼稚園教育の現状を参観に来ているか。
- ・幼小中のつながりを大切にした教育を推進していただいていることに感謝します。
- ・学校が再開した6月には、園の教員が新1年生の授業参観し、子どもの様子を交流することができた。
- ・小1ギャップ解消のため、年長の園児が小学校を訪問し、雰囲気慣れ親しむことができた。
- ・幼稚園になってから久しいですが以前との変容は良くなったこと。

2) 教科の本質に根ざした授業改善

- ・岐阜市と連携して事業を進めることはとてもよいことであり、さらに発展させたい。
- ・「教科等メンター」と「教科等専門指導員」との相違は何か。
- ・本巢市版授業改善の手引き」の作成、とてもよいと思う。
- ・教員が共有でき、ともに高まり合いながら授業改善を進めることは、子供たちにも教職員にとっても有意義なことです。
- ・新学習指導要領の全面実施により、新しい評価の視点を踏まえた「指導と評価の一体化」が課

題となっています。大変ありがたいです。有効活用していけるとよいです。

- ・ 各教科及び領域の「指導と評価の計画」は、大いに活用させてもらっている。

3) 「教科専門指導」の配置

- ・ 専門性や経験を生かした指導は、若手教員はもちろんすべての教職員の資質や指導力の向上に生かされていると感じます。
- ・ 新型コロナウイルス感染症予防も行いながら、教科の本質を捉えた指導・援助を行い、教員の指導力向上に確実に繋がっている。
- ・ 小学校において、専門性の高い指導を受けられることは、子どもにとって大きな財産ですし、確かな学力につながります。教員にとっても大きな支援となっています。
- ・ 本巢市型の小学校高学年からの教科担任制ができつつある。

4) 思考力・判断力・表現力を身に付ける指導

- ・ 学校で大切にしている学習習慣づくり「話す・聞く」の質の向上を進めることができます。
- ・ 思考力を高めるための教科の特性を踏まえた、ノートづくりを大切にしています。
- ・ 探究型学習をより良いものにするために大切にしています。
- ・ コロナ禍にあって、地域の外部講師を招へいすることが難しい面もあったが、工夫しながら取り組むことができた。
- ・ 確かな学力の定着のためには、家庭学習の充実は欠かせないものです。学校としても自学する力を付けることに今後も努力をしていきたいです。
- ・ ノーランドセル登下校の取組と併せて、自ら考え取り組む家庭学習ができつつある。

5) 個別最適化された学びを支える「本巢市型G I G Aスクール」

- ・ 一人一端末貸与は英断だと思う。但し、どう活用するかが肝心。教師の側が的確に活用できる資質を身に付ける研修等も充実したい。また、教師にも端末を貸与して常時活用できる環境整備も必要。
- ・ 子供たちもタブレットを活用し学習していくことが楽しく、意欲的な姿が多くあります。
- ・ 児童生徒の側が、目的をもち、主体的に自学に励む姿勢こそ、学力向上には必要。A Iドリルソフトの限界も教師の側で十分把握し、その上で活用を図りたい。
- ・ 授業の中でも活用することが多くなってきています。
- ・ 個別最適化できる授業ツールとしての「SKYMENU C l a s s」とはどのようなものか。
- ・ 教職員のスキルアップをしながら、より質の高い授業ツールとして活動できるよう、進めていただいているので、ありがたいです。
- ・ 授業実践交流会や職員研修によって「SKYMENU C l a s s」の使い方を職員は習得しつつあるが、これを活用してみんなで議論しながら自分の考えを深めことができるところまでには至っていない。
- ・ 「e ライブラリアドバンス」の活用、教師の側がその良さ、問題点等十分理解したうえで活用を図っていきたい。
- ・ 夏休みは家庭にタブレットを持ち帰り、自学を進めています。
- ・ タブレット1人1端末は素晴らしいですが家庭へ持ち帰る機会が少ないように感じます。初めてのことで、いろいろ準備等あると思いますので、これからに期待しています。

6) 生涯にわたり学び続ける場の充実

- ・ 生涯学習を進めるにあたり、大変有効な場であると思います。
- ・ 公民館講座の参加学年を3年から4年にしては。(現在は小学校1年生から3年生までとしている)
- ・ どのような本があるのか、書名だけでなく内容の一部紹介などもしながら、多様な方法で市民

に紹介したい。

- ・ 本校(真桑小)では、2年生が生活科の授業で「しんせい ほんの森」の見学に出かけ、読書通帳を作成していただき、地域の図書館利用を促進することができた。

施策2 個性や能力を伸ばす教育の推進

1) 自発的な遊びの充実

- ・ 運動遊びを継続的に位置づけ、園児の心身の育成に努めてみえることがすばらしいです。

2) 学校における個性伸長学習

- ・ 「個性伸長科」と「かがやき科」との関係はどのようになっているか。
- ・ 義務教育学校が魅力あるものになり、児童生徒がかがやく教育を推進しようと進めていただいているのが伝わってきます。

3) 「やってみたい」「おもしろい」を引き出す機会づくり

- ・ 子ども学芸員の育成はとてもよいが、ここにもあるように「皆の前で発表」などのように、学んだ成果を生かす場を設けていくことがとても大切。
- ・ 自分の興味関心・良さを発揮しようとする児童生徒を伸ばす施策がありがたいです
- ・ 「STEAM楽校」とはどのようなものか。具体的にどのような活動をしたのか、左の説明だけではよくわからない。
- ・ 新型コロナ感染の状況を踏まえながら、できることから継続して行ってほしいです。

4) 中学校部活動

- ・ 社会人指導者の活用はとてもよい。
- ・ 生徒の活動の充実のためには指導者の確保は欠かせないことです。今後ともよろしく願います。
- ・ 生徒数の減少により単独校では部活動の存続が維持できない場合が増えていきます。生徒の求める活躍の場をいただけるのはありがたいです。
- ・ 運動系の部活動は部員が減っているようです。人数が少なくて試合が出来ない各部の今後の在り方が難しいと思います。糸貫中の剣道部が団体戦に3人で参加し好成績を残したこともあり、少人数でも良い面があると思います。
- ・ 国の方針に基づき、市としていち早く部活動の在り方・改革に着手していただき、感謝いたします。
- ・ 移行は難しい面も多いと思います。よろしく願います。

5) 各種展覧会・コンクールの実施

- ・ 感染防止のため中止が相次いでいるが、そろそろ「WITHコロナ」の考え方も大切にし、中止以外の方法も考えていきたい。

6) 生涯にわたる個性の伸長

- ・ スポーツや文化は人の心を豊かにするものです。今後も支援をお願いいたします。

施策3 「数学のまちづくり」の推進

1) 園・学校における数学教育の推進

- ・ 幼児のうちから数量や図形に興味・関心を持つような環境設定はとてもすばらしい。「数学の町本巣」づくりの最初のステップになる。
- ・ 15パズル配布時に、配布の目的を書いたものを一緒に配布すると良いと思います。
- ・ 実体験の大切さ・楽しさを改めて実感しています。
- ・ ワンダーランドの良さを多くの市内外の学校等にアピールした。

- ・ 日程をずらすことで、市内全部の小学4年生に見学させられると思うので、ぜひご検討ください。
- ・ 算数・数学の学力を高めてこそ、この一連の事業の成果と言える。算数・数学甲子園の過去問題活用もよいが、学校教育の中でも、多様な視点から本市の児童生徒が算数・数学好きになり、関心を持って取り組む指導に努めていると思う。具体的な事例があれば教えてほしい。

2) 社会教育における数学教育の推進

- ・ 社会教育の分野での「数楽校」の企画、内容的にも興味をひきそうなものばかりで、さらに充実させていきたい。
- ・ 子供たちの個性や良さを伸ばすためにありがたいです。
- ・ 地元高校生や学力向上サポーターによる対面式の学習会ができなかったのが残念。身近なお兄さん・お姉さんに直接教えてもらうことによって、伸びる子がいる。
- ・ 「算数・数学甲子園」のコロナ禍での工夫を凝らした開催、本市のこの事業にかける本気度が表れていると思う。
- ・ 本校(本巢中)でも問題に取り組み、数学への興味関心を高める機会となりました。
- ・ 校内の専門委員が児童に積極的に働きかけ、冬休みの課題の一つとして取り組むことができた。
- ・ コロナ禍の中、どこでも誰でも取り組めるような形にしたのは良いと思います。
- ・ 今後も楽しい事業になるよう進めていただきたいと思います。
- ・ 数学ワンダーランドのことをチラシ等でもっとアピールしても良いのでは？と感じました。まず学校で行く機会を作り、家族で行くきっかけとして促してみてもいかがでしょうか？

施策4 英語教育の推進とグローバルな視野の醸成

1) 幼・小・中一貫した英語教育の推進

- ・ 大変ありがたいです。
- ・ 「本巢市版英語カリキュラム」については、常時活用・評価・改善を加えながら、より確かな英語力を育成するものに高めていっていただきたい。

2) A L TとJ T Eの配置

- ・ ネイティブの発音に触れることができ、大変ありがたいです。
- ・ J T Eは毎日、A L Tは週4日配置してもらうことができ、児童の力を伸ばすことにつながった。
- ・ A L T、J T E、担任の3人体制で指導することにより、英語が苦手な児童に力を付けるだけでなく、得意な児童の意欲を高め、A L Tと積極的に会話することができた。
- ・ A L TとJ T Eの連携により、英語の授業がとてもスムーズに効果的に行われています。

3) 実践的な英語活用能力の育成

- ・ 面白いです。
- ・ コロナ禍でも、工夫して事業を進めていただき、ありがたいです。

4) 大きく視野を広げ、世界から本巢市を見つめ直す青少年派遣事業

- ・ 見直しの内容について、その理由はいかが。

施策5 ICTを活用した情報教育の推進

1) 情報活用能力の育成

- ・ 子供たちもタブレットを活用し学習していくことが楽しく、意欲的な姿が多くあります。
- ・ 今後さらなる活用に期待しています。
- ・ 全小中学生の家庭のネットワークはいかが。

- ・ タブレットの活用の仕方を、具体的に例としてあげてもらえると良いです。
- ・ 職員研修をていねいに位置づけていただき、学校としてもありがたいです。今後も連携をお願いします。
- ・ タブレットの教育への活用については、使える⇒有効な活用ができる⇒多様な活用方法を駆使できるという方向で進めたい。有効で多様な活用については、実際の実践例を幅広く集め、それを広げ、共有できるシステムを構築するなどの方法が考えられる。
- ・ 授業実践に生かせるよう、今後も支援をお願いします。
- ・ 職員が「T e a m s」を活用できるよう支援いただき、職員も使いこなせるようになってきています。
- ・ 家庭にネットワークの環境がなく、オンラインの実施が難しい家庭のサポートが課題。
- ・ 緊急時に大いに役立つと考えられるので活用したい。
- ・ オンライン帰りの会や登校日等、活用しているようです。

2) プログラミング教育の推進

- ・ 子供たちの興味関心を引き出しながら楽しい授業を行っていただいています。

3) 情報モラル教育の推進

- ・ 情報モラル教育は喫緊の課題であり、学校としてもていねいに継続して実践しています。
- ・ 情報モラルやネット上の諸問題を度々取り上げ指導したい。
- ・ すでに保護者等に情報モラル教育が開催されていますが、参加者が少ない。
- ・ 子どもたちの意識づけはもちろん、保護者もしっかり関わっていかないといけない問題なので、PTAの活動に外部講師を招いたりして啓蒙活動をするのも1つの方法かなと思います。
- ・ インターネットやSNSの取扱い方について、家庭への啓発や約束づくりを推進いただけることはありがたいです。
- ・ 中学生のスマホ（LINEグループ）に、学校はどの程度関与出来るのでしょうか？保護者も学校もあまり関与出来ない状況だと感じます。
- ・ 家庭の関心が低すぎる様である。

施策6 指導者の資質向上

1) キャリアプランに応じた教職員研修

- ・ ていねいな研修をありがたく感じます。
- ・ 教員一人一人のキャリアステージに応じた研修及び指導・援助を行っていただき、教員の指導力向上を図ることができた。
- ・ 若い先生たちが自ら進んで力量を高めていこうとする気持ちが持てる環境整備(指導・支援も含む)をより充実したい。
- ・ 若手教員の授業を見ていただき、その後ていねいな指導をいただけるので、それが励みとなり、実践力につながっています。
- ・ 教員採用試験を受験する講師に、手厚い指導をしていただき、自信をもって試験に臨むことができていた。
- ・ 日々の現場の仕事にプラスして行わなければならない、先生方には大変かと思いますが、知識のブラッシュアップは必要であると感じます。
- ・ 自らを高める研修機会が幅広く保障されることは大切。岐阜大学教職大学院以外の選択肢も今後増やしていきたい。
- ・ 若手の育成とベテランのやりがいづくりになっています。

2) 本巣市学校教育研究会における授業改善研修

- ・ 指導教員制度は教員の中堅リーダー層を充実していくうえでとても良い制度である。指導員に選ばれた教員の活躍の場を保障し、指導力が身につくよう配慮したい。また、指導員がさらなるキャリアアップを目指すような道も示していきたい。指導員を核にして、指導力を備えた教員が次々と生まれるようなサイクルを確立していきたい。

3) 研究指定実践校の指定

- ・ 拡大校内研究会として実施し、岐阜教育事務所の指導主事や、他市の校長、教頭先生に指導していただき、今後の研究の方向を確立していくことができた。
- ・ 研究指定校、発表会、研究会等々、他市では形式的に開催されているケースもよくみられるが、真に実のある制度となるような工夫も考えたい。
- ・ 例えば、教科ごとに普段から問題意識をもった先生たちが集まって授業公開、研究会をするなど、同好会的な研究会も意味があるように思う。
- ・ 他校から学ぶ機会は大変貴重で大切にしていきたいです。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公表会という形では行えず、市内の先生方に参加していただくことができなかった。

4) 社会教育委員やスポーツ指導者の研修

- ・ 指導者の総数は18名は多いのか。

豊かな心

施策7 キャリア教育の充実

1) 幼稚園におけるキャリア教育

- ・ よさ見つけなど、小中学校にもつながる指導がとても良いと思います。
- ・ 遊びの準備後片付けの習慣づけ継続したい。

2) 学校におけるキャリア教育

- ・ 自分を見つめ振り返ったり、仲間の姿を意識したりすることで、より良い自分や仲間を目指し、具体的な行動をしていくことにつながります。また、仲間に認められ、自己有用感の向上にもなっています。
- ・ 直接、見たり話を聞いたり、体験することは大事にしたいです。素晴らしいと思います。
- ・ 生き方講演会を体験した生徒は、今まで知らなかった価値や世界観に触れることで、自分の今までの生き方を振り返ったり、将来の生き方を考えたりするきっかけとなっています。
- ・ 今後もできるだけ多くの機会を作してほしい。
- ・ 本校(真桑小)では、企業家体験学習として「手ぬぐい」の製作と販売を行った。手ぬぐいの図柄には、本巣市を象徴するものを取り入れ、「ふるさと教育」も併せて取り組んだ。また、対面販売ができないため、ネットによる販売を行った。
- ・ 現在の多様な進路選択の場、情報をていねいに正確に伝えています。

3) 家庭や地域、社会を巻き込んだキャリア教育

- ・ 「本巣市の子どもはどの子ども家庭の仕事を必ず行う」という姿をぜひ実現していただきたい。達成感・有用感を感じることを思う。
- ・ 3か月に及ぶ臨時休校の間には、自分が家族のためにできることを実施し、自己有用感を実感することができた子どもがいた。
- ・ ボランティアを大切にされた教育の推進を保護者・地域・行政と学校が連携しながら進めていく

ことを心掛けています。

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域活動が実施されず、参加することができていない。
- ・ 中学生になると、地域との距離を少し感じますが、その中でも地域づくり交流会など積極的な施策を行っていただき、素晴らしいと思います。

施策8 地域ぐるみの道徳教育の深化

1) 園・学校における道徳教育

- ・ 中学校区での連携した道徳実践を進めていけるようにしていただいています。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本巣中学校区で行われた道徳教育計画訪問には参加できていない。
- ・ 中学校区で重点化する内容項目を共通化することはできていない。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、授業参観は実施できていないが、PTAと連携して、学校、家庭、地域における挨拶運動に取り組んだ。

2) 家庭・地域と連携した道徳教育

- ・ 家庭における読書活動を家庭教育学習のテーマとし、親子読書などに取り組んだ。
- ・ 地域活動、ふれあい活動を、新型コロナが終息した時に、うまく再開していけるとよいです。
- ・ 真桑文楽保存同好会の方から直接、指導を受けることはできなかったが、クラブ活動では取り組んでいた。

施策9 人権教育の推進

1) 園・学校における人権教育

- ・ 3本柱の幼・小・中・高の連携した取り組みぜひ持続して実践してほしい。
- ・ あいさつを共通実践項目にした中学校での実践を進めています。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、幼児園児との仲よし遊びは、実施していない。
- ・ 児童会が中心となって「なかよし宣言」を発表し、人権意識を高めることができた。
- ・ 今後さらにLGBTsなどマイノリティの理解を進め、具体化してしていくことが、必要になってくると思われます。
- ・ 学校でも今後も継続して、指導していきます。

2) 家庭や社会における人権教育

- ・ (4)(5)のLGBTについての理解は、大人にこそ必要。市民啓発のような講演会は今後もぜひ必要。
- ・ 参加者について、もっと研修すべき。
- ・ 当事者と家族の体験をもとに心の葛藤を乗り越えた講演会で学校の先生や親にも多く参加してほしい内容でした。
- ・ もっと市民にわかる様に啓発活動を。
- ・ 本巣小、糸貫中の取り組みが他校にも広がっていくよう、他校で両校の活動の紹介などもあるとよい。
- ・ 今後さらに大切になってくる内容だと考えます。

施策 10 心を動かす体験活動の充実

1) 自分の五感で確かめ、命や平和について考える「広島平和研修」

- ・ 直接、見たり話を聞いたり、体験することは大事にしたいです。素晴らしいと思います。
- ・ 中止は致し方ないが残念。今後は対策を講じた上での開催、または「平和展」への作品提供など代替事業などを考慮してあげたい。

3) 生き方を考える中学校での講演会

- ・ 素晴らしい講師を迎えての防災教育。子どもたちの確かな学びが期待できる。このような講演会では(実施されているとは思いますが)録画し、それを本巢市のライブラリーのコンテンツとして保存し、さらなる活用を図りたい。
- ・ 自分の生き方を見つめたり、世界観を広げたりすることにつながったとても素敵な講演会でした。

5) 心豊かで、安らぎとうるおいがあふれる芸術・文化を味わう文化ホール事業

- ・ 校長・園長会において、周知していただいています。

施策 11 読書活動・図書館教育の充実

1) 本に親しみ読書を楽しむ学校図書館教育

- ・ 学校図書・読書の充実には図書司書、図書司書補助員が不可欠です。ありがとうございます。
- ・ 選書にあたっては、図書司書補助員が中心となって、管理職や図書館主任と連携しながら児童が読書に興味をもてるように行うことができた。
- ・ 本校(本巢中)でも図書司書さんの創意工夫で、図書館を利用しやすい環境、学びのある環境づくりをしていただき、子供たちが読書に興味をもてるように工夫していただいています。
- ・ 図書室利用にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策にも十分に配慮し、安心して読書できる環境とすることができた。
- ・ 「朝の読書タイム」を設けたことにより子どもの読書習慣がどの程度伸びたか、一度各校で調査して、今後の指導に生かしていくことも考えたい。

2) 子供の読書活動の推進計画

- ・ 本に触れる習慣づくりのために素敵な取り組みだと思えます。
- ・ 「ジュニア司書」制度、ジュニア学芸員同様良い発想だと思う。ジュニア司書には大いに活動の場を与え(紹介以外にも小さな子への読み聞かせなど)、本好きで表現力豊かな子どもの育成につなげていきたい。
- ・ 読書習慣づくりにはとても良いことだと考えます。
- ・ 本校(真桑小)では、2年生が生活科の授業で「しんせい ほんの森」の見学に出かけ、読書通帳を作成していただき、地域の図書館利用を促進することができた。
- ・ 読書通帳の継続発展を願う。

健やかな体

施策 12 体力向上・健康増進を図る運動習慣

1) 「強い心」を育むことを中核とした「生きる力を育むプロジェクト」の推進

- ・ 地域、家庭で自然に遊ぶ姿がなかなか見当たりません。残念な事です。全幼稚園に対して理論に基づく遊びの指導、子供たちの楽しく進化していく姿が伝わってきます。家庭も取り込んで引き続きお願いします。
- ・ 当たり前のことが、コロナ禍で出来ず、感染防止の徹底した保育、研修の御苦勞に感謝します。

子供達もこの現状をしっかりと感じ取り、強い心、生きる力をしっかりと学びぶ事と思います。

- ・ 講演会、研修会が安心して開催出来る様になったとき、スポーツ関係者も指導研修が受けれることを希望します。
- ・ 幼児の心身のたくましさ・体力の向上が数値となって表れています。
- ・ ゲームとしてボール投げを取り入れ、真剣に正しく投げようとする子供達の姿に感動しています。
- ・ 研修会はできなかったが、代わりに動画配信ができたなら「A」でもよいのではないか。
- ・ 保護者の理解を得ることは大変よいことだと思います。
- ・ 親子での取り組み、指導方法が園と家庭で共用、とても良い事です。親世代も色々、基礎から学び取ることが出来ていると思います。

2) 体力や運動能力の向上

- ・ 測定結果に、北地区、南地区に変化はあるでしょうか?北地区には、少年団など学校以外に体験できる機会が少なく、危惧しています。
- ・ 体育専門指導員の活用は、子どもの運動技能、体力を育成する上でとても効果があると思う。ただ、いつも指導員がいるわけではないので、担任教師もこうした機会を利用して体育指導法などを学び取るようにしていきたい。
- ・ 体育専門指導員による専門的な体育指導は、体育専門でない小学校教員には力強い存在です。
- ・ 充実した指導体制に、安心しています。運動は楽しい、楽しいから頑張ってみよう、そんな子供達に育ってほしいです。
- ・ 体育専門指導員による専門的な体育指導は、授業改善への具体的な道しるべとなる力強い存在です。
- ・ 体育の授業が地味な持久走などでも、息子はすごく楽しみにしているようです。運動能力の向上の話など学校で習ったことを家で話してくれます。
- ・ 専門指導員による、細やかな指導により、これやれるかも、何とか出来た、思ったより簡単だった等、運動に対しての苦手意識がなくなるのを期待したいです。
- ・ 運動が苦手な子の取り組める種目の導入はとてもよいこと。運動の苦手な生徒にとっては体育大会は辛いものとなる。
- ・ 学校でもコロナ禍での工夫した取り組み、新しい実践を進めているところです。
- ・ 共同体、団決力、たくさんの目的達成の為、楽しんで継続してほしいです。
- ・ 授業の静から動の体の切り替えを楽しむ事が大切な事です。
- ・ 糸貫川プールの開放はとてもよい発想。昨年度は致し方なかったが、できる限り実現してやりたい。
- ・ コロナ禍で出来ませんでした。スイミングスクールに行かなくても、身近で体験が出来る教室の開催を続けてほしいです。夏休み学校のプール回数が少なく、糸貫川プールの利用を周知、PRしてほしい。
- ・ トップアスリートの活用、子どもにとって相当なインパクトがあると思う。今後もぜひ継続したい。
- ・ 良い体験が出来たと思います。是非、今後も続けていただきたいです。
- ・ どこまでが、ここではトップアスリートですか。
- ・ トップアスリートの実技指導、ポイント指導はスポーツを楽しむ為の原点指導。トップアスリートのかぎやきを学び取ってほしい。

3) 各種スポーツ団体の自主運営活動に向けた支援と団体間の連携

- ・ 子供たちの夢を応援していただけるのがありがたいです。

- ・ 加盟団体・会員数減少は時代の流れでしょうか？既存の団体の活性化、ニュースポーツ団体の発掘加入を期待したいです。引き続き手厚い支援をお願いします。
- ・ 子供たちの健やかな心身の育成、良さを伸ばすための支援を大切にいただいています。
- ・ 団員の確保について。
- ・ 理解ある多くの指導者に感謝です。子供たちの数がどんどん減少し活動、チーム作りにもご苦労があると思います。根尾、外山校区では、なかなか少年団の楽しさを味わうことが難しいのではないかと。より保護者の協力が不可欠。
- ・ 協会と横の連携をしっかりとって、イベントの内容を充実させ、市民提供出来る様に、協会への支援もお願いしたいです。
- ・ サッカー少年団など、プロとの接触機会を有効に利用できると思います。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で子どもたちの運動量の低下はないか？
- ・ コロナ禍により、継続していた活動が衰退することを危惧する。やめてしまうことは簡単な事再開するのに何倍ものエネルギーが必要です。手厚く指導助言し、どんな状態でも、出来る方法を考え軽スポーツの楽しさを味わってほしい。

4) ライフステージに応じた健康づくりや生きがいづくりができる各種事業の設定とスポーツコミュニティづくりの推進

- ・ ウォーキングやランニングの奨励は市民の健康保持増進に大切。できれば、市内のポイントポイントに「ウォーキングモデルコース」等を整備することも考えたい。
- ・ ウォーキングの街づくりとして、いつでも、どこでも、誰でも、少しの時間を見つけて、市民が”ちょっと歩いてくるわ！”と気軽に行動に移せる環境づくりをしっかりとサポートしてほしいです。”本巢はウォーキングの街だよ”と、あちこちで聞けるのが理想です。
- ・ いつもスポーツ推進員の皆さんの献身的な活動に感謝します。
- ・ コロナ禍で何が出来るか？立ち止まるのではなく、スポーツ推進員として今だからやらなければならないことを見つけ、特にウォーキングコースづくりに取り組み、各事業再開に備えています。

5) 地域に貢献できるスポーツ指導者の発掘及び指導力向上のための研修及び活動の充実

- ・ 指導者は仕事を持ちながらさらなる研鑽をされ子供達の指導、スポーツ底辺拡大に、感謝します。
- ・ 目で訴え、本巢市に取り入れられることがあれば、どんどん参考にして、指導力向上に取りみたいです。

6) 総合型地域スポーツクラブの活動充実に向けた支援

- ・ コロナ禍、講座もイベントも中止が続き、会員維持に苦労されている。幅広い年齢層が同時に楽しめる様な講座があるとよいです。他のスポーツクラブの内容も参考にすることで、講師の情報も入ると思います。

施策 13 「ウォーキング・ランニングのまちづくり」の推進

1) 体力や運動能力の向上を図るウォーキング・ランニングイベント

- ・ 本巢の看板事業に成長してきていると思う。今後さらに充実させていきたい。
- ・ いつか参加したいです。
- ・ 中止になり残念ですが、内容見直し等、プラスにとらえたいです。本巢市一般参加者が一人でも多く増えることを願っています。
- ・ 自由に目的地に集まる、ゴール後どんなことで楽しむか？屋外での交流方法を飲食を中心でなく、参加者からの情報が広く伝わる形が望ましい。屋外の為、一般モレラ利用客から一人でも

次回参加者を期待したいです。

- ・ 樽見鉄道を利用することがとても良い事です。南北長い本巢市の自然の違い、良さを味わってほしい。時間を競わず自分のペースに合わせて走ることが出来るのもメリット。コースも刷新、多くの参加を楽しみにしている。
- ・ コロナ禍で運動不足の中、家族でウォーキングをすると、様々な話が出来て、心のリフレッシュを図ることができると思います。
- ・ 超一流のアドバイザー金 哲彦さんがこんなに身近に本巢市に関わって頂いていることを、市民にも周知して興味をもって頂きたい。広報などにも、紹介してみてもう良いでしょう。

2) ウォーキング・ランニングの環境整備

- ・ 今後もウォーキングの魅力を発信していただきたいです。
- ・ モレラで見つけました。面白い企画だと思いました。
- ・ あまりされていない。
- ・ モレラの協力もあり、室内でありがたい事です。PRも兼ねモレラウオークTシャツ（1周1キロをメインにする）タオル、小物グッズ等少し遊び心でモレラとコラボ出来ると、活性化の一助になるのでは。
- ・ 活動が少ない。
- ・ カードのPRが必要（初めて聞きました）市民の皆さんも知らないだけで、知ったら興味ある方が大勢いそうです。
- ・ 折角の良いアイデアなのに、いまいち周知不足でしょうか。コロナ禍でも運動不足解消には、ウォーキングは最適です。モレラコースのみ有効ですか？市内各地有効に活用できるといいですね。（自己申告制ですか）
- ・ 各小学校区に数コースを目標としている。見てウォーキングが楽しくなる様な、わくわくする看板設置を切望します。他市町からもウォーキングの本巢市をPR出来る様な看板の予算化を宜しくお願いします。
- ・ コロナ禍で、行事が中断してしまわないように連携を大切に、次年度に取り組みたいです。

施策 14 質の高い学校給食提供・食育の推進

1) 質の高い学校給食の提供

- ・ 本巢市の給食のおいしさは学校職員のよく知る所です。職員室でも給食の話題が出ます。いつも、おいしい給食、安全で心のこもった給食をありがとうございます。
- ・ 献立、食材、調理法など、様々な工夫がなされており、美味しい給食を提供していただくことができた。
- ・ 地域食材を利用した給食の際には、栄養教諭が放送等で話す場合は良しとして、放送がない時には担任教師が一言紹介するだけで、子どもの地域の食材に関心を持ち「ふるさと愛」に繋がると思う。
- ・ 地産地消の食材は、子どもにとっても給食を身近に感じられ、残さず食べようという意識を高めています。今後もぜひこの取り組みを推進していただきたいです。
- ・ ふるさと食材使用の、給食試食会を体験しました。手作り、見た目の色のバランス、味付け最高で感動しました。献立表を見て楽しんで給食を待つ子供達の姿を見て、心温まる給食に感謝です。
- ・ アレルギーの子供、保護者にとって、とてもありがたいことです。
- ・ 食物アレルギーがある児童が年々増加しており、複数の教員で確認しながら配膳している。
- ・ 保護者の方にも知っていただくよい機会だと考えます。

2) 園・学校における食育の推進

- ・ 食育として「命をいただく」ことでの、その命をしっかり食べることを意識することで「命の大切さ」や感謝の心を育てていくことはとても大切だと考えます。
- ・ 「ジビエ給食」を提供する際、栄養教諭だけでなく市産業経済課職員や加工業者の方から、有害鳥獣による農作物の被害やシカ肉の栄養価などについて説明を受け、捕獲した鳥獣を無駄にせず、その命をいただくうえで「命の大切さ」を子どもたちが実感することができた。
- ・ とても素敵な取り組みです。
- ・ 家庭では給食の話題が一番盛り上がります。
- ・ 中学校卒業までには誰もが食育マイスター的になれるような到達目標ができないものか？

施策 15 健康教育・命を守りきる教育の推進

1) 保健安全教育を充実させるための体制の整備

- ・ 学校医さんから話を聞ける機会は多くないので、学校保健安全委員会を大切にしていきたいです。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催となってしまった。
- ・ 保健衛生指導員からは、学校でのドライブスルー方式によるPCR検査を行う際、適切なアドバイスをいただき、スムーズに行うことができた。
- ・ 本巢の子は本巢市の財産と言えるものだと考えます。

2) 各園・学校の保健安全教育の推進

- ・ 「命を守る」ことは、子どもに身に付けさせたい基本中の基本。子どもに降りかかる危険も多様になっていて、その分教師の防災知識や技能や的確な判断が求められる。子どもへの訓練と合わせて教師への研修も欠かせない。
- ・ 子供が主体的に考え、行動できる力を付けていけるような取組を今後も大切にしていきたいです。
- ・ ノーランドセル登下校の実施により、暑さから身を守る対策を自ら考えることが少しずつできるようになった。
- ・ 毎日のランドセルの重量が気になります。登下校の所要時間も考え極力中身の軽量化を指導してほしいです。
- ・ 学校においても「新しい生活様式」が定着してきたことを実感します。
- ・ 手洗いや消毒、3密の回避、給食時の黙食など、意味を理解して取り組むことができた。
- ・ コロナ禍、発症時は手探り状態、何とか現状までの御苦労に感謝し、ひきつづき感染対策、指導宜しくをお願いします。

方針 2 安全・安心な園・学校、家庭、地域

施策 16 各園・学校や地域の特色を生かしたマネジメント

1) 各園・学校における「生きる力」の育成

- ・ 生きる力を育てる補助金は、学校の独自性、特色を生かした取り組みのためにとっても意義にあるもので、大変助かっています。
- ・ コロナ禍ではあったが、「生きる力を育てる教育活動推進事業補助金」を活用し、学年ごとに「総合的な学習の時間」を中心に新たな方法を考え、実施していくことができた。
- ・ 学校評価は、学校の高まりだけでなく、課題が明確になり、次年度の学校運営構想の構築にも役立たせることができた。

- ・ 学校の学校経営方針や具体的な実践について成果と課題をはっきりしながら、改善していける。

2) 義務教育学校「根尾学園（仮称）」の設立

- ・ 魅力ある義務教育学校づくりを丁寧に進めていただいていることがわかります。

3) 児童生徒・保護者のニーズに応じた教育環境の整備

- ・ 良い取り組みだと思えます。
- ・ 留守家庭教室の人数が増えていると聞きます。よろしく願いいたします。

4) 学校事務の共同実施

- ・ 事務職員間の連携が強化され、自信をもって職務遂行できる姿があります。
- ・ 効率化できると良いと思えます。

施策 17 コミュニティ・スクールの発展

1) 4つの本巢市型コミュニティ・スクールの設置

- ・ 幼小中の一貫した教育を大切にした取り組みとなっています。
- ・ 学校運営協議会を開催することはできなかったが、感染予防を行いながら、手ぬぐいの図柄を決定するプレゼンテーションに参加していただき、児童の主体的に学ぶ姿を参観していただくことができた。

2) 園・学校における学校支援推進委員会の活用

- ・ 地域・保護者の協力がありがたいです。
- ・ 「できることから取り組んでいく」姿勢を大事にしながら、PTAと見守り隊の皆さんが連携を図りながら、挨拶運動に取り組んでいくことができた。
- ・ 大勢の人が集まることができず、組織的に行うことはできなかったが、自主的に環境整備作業を行ってもらうことができた。
- ・ PTA活動で父親委員さんが、一生懸命草刈りしていただけています。父親が学校に関わる良い機会になっています。
- ・ 中学生のボランティア活動の取組の場としても、とてもありがたいです。

3) 地域に開かれた園・学校運営

- ・ 授業参観等もなかなか実施することができなかったが、通信やホームページを活用して、子どもたちの様子を発信することができた。
- ・ メール配信は便利で役立っています。ホームページをもう少し充実させると良いかと思えます。

施策 18 子供たちの成長を支える地域学校協働活動の推進

1) 地域の実態に即した「地域学校協働本部」の設置

- ・ 回数を増す。
- ・ 積極的な取り組みが子どもたちの意義ある活動の場になっています。
- ・ 回数は減ったが、地域の方がスタッフとなり、子どもたちが興味・関心を高める活動を計画し、実施することができた。

3) ボランティアバンクによる人材の発掘と生涯学習活動の充実

- ・ 学力向上サポーターの支援は学校にとってもとても助かっています。
- ・ 地域支援コーディネーターが障がい者の方と学校をつなぎ、子どもたちが学びやすい環境をつくりだすことができた。
- ・ 子どもたちにとって、楽しい居場所となっています。スタッフの皆さま、ありがとうございます。
- ・ 古文書解読後の処理活用等は？

施策 19 いじめ・問題行動の未然防止

1) 園・学校におけるいじめの未然防止のための予防・開発的教育

- ・ いじめはどの学校、どの学級でも発生する可能性があるという認識と、全職員で子供の命を守りきることを共通理解した。
- ・ 学校でもこの5つの誓いを継続的に発信し、職員も生徒も共に意識化し、徹底して指導できるように心がけています。
- ・ スクールカウンセラーを講師に招き、「SOSの出し方・気付き方プログラム」を実施し、あらゆる立場からいじめの早期発見・早期解決に向かって動き出せる体制をつくり出している。
- ・ 組織を活かした指導、良さや違いを認め合える教育を大切にしています。
- ・ 毎週水曜日の放課後に行う打ち合わせで、生徒指導に関する情報は、生活支援員にも参加してもらい、情報の共有を図っている。

2) いじめ・問題行動の未然防止のための実態把握

- ・ 子どもの心に寄り添いながら、何かあれば迅速に対応できる組織を大切にしています。
- ・ 心のアンケート実施後には、朝の活動時間を活用し、全児童を対象に二者懇談を実施し、懇談内容を校内で共有することができた。
- ・ いつも学校に寄り添い、ともに解決策を考え歩んでいただいていることに感謝いたします。

3) 関連機関や有識者との連携を図ったいじめの未然防止

- ・ スクールロイヤーの存在は、何か困ったときに助けてもらえるという支えになっています。

施策 20 教育相談・特別支援教育・インクルーシブ教育の充実

1) 教育相談の充実・外国人児童生徒への就学支援の充実

- ・ 総括教育相談員が丁寧に相談活動のサポートをしていただけるので、ありがとうございます。
- ・ 総括教育相談員が、学校の教育相談員ときめ細かく連携を図り、様々なニーズに対応してもらえた。
- ・ 学校での教育相談員の存在は今後ますます重要かつ大切な存在となっていきます。
- ・ スクールカウンセラー、スクール相談員など、学校外の専門家とも連携しながら、子どもだけでなく保護者のカウンセラー等も実施することができた。
- ・ 年2回の実施により、学級満足度調査によって一人一人の変容についても見届けることができた。

2) 特別支援教育の充実

- ・ 市費の非常勤講師の存在が学校にとって大きな支えとなっています。ありがとうございます。
- ・ 非常勤教育講師が、子どもたちのニーズに応じた手厚い支援を行い、特別支援学級の担任をサポートしている。
- ・ この連携した取り組みが適切な就学支援につながっています。
- ・ 本巢市として素晴らしいシステムの構築ができていると思います。

3) インクルーシブ教育・ユニバーサルデザイン

- ・ 学校でも、ユニバーサルデザインの考え方が定着してきました。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、居住地交流は実施できなかった。
- ・ 本来は幼少時期に共に生活する中で偏見を持たないで自然と生活する力がつくと思います。できる限り通級等でもして対応力を身につけていけたらと願います。

4) 不登校児童生徒への支援

- ・ ていねいな個別の支援をしていただき、ありがとうございます。

- ・ 児童一人一人の実態に応じて、適応指導教室「たんぽぽ」では様々な活動が行われ、学校復帰につながっていった。
- ・ 不登校の生徒数が非常に多いと聞いております。1人1人事情が異なると思いますので、生徒に合わせた様々な対策を追加していただけるとありがたいです。また、担任の先生だけでは負担が大きくなりますので、可能ならば他者と連携することも重要だと思います。
- ・ 保護者も悩んでいますので保護者向けの相談窓口があるとありがたいです。
- ・ 不登校児童生徒のための具体的な施策を積極的にしていただき、ありがたいです。
- ・ 岐阜市の草潤中学校などは話題にあがりやすいですが、本巢の学び舎にも大いに期待しています。

施策 21 困難を抱える家庭への教育支援の充実（教育の機会均等の確保）

1) 子育て家庭への様々な支援

- ・ とてもありがたいです。
- ・ とても良い事業だと思う。9人が対象であるが、埋もれている人はいないか、何とか支援していきたい。
- ・ 保護者や子どもにとっても大きな支援となり、ありがたいです。
- ・ 福祉敬愛課と学校が連携して家庭の状況を継続的に見届け、対応していくことができた。

2) 小・中学校就学時の支援

- ・ 家庭の実情を考慮していただき、準要保護家庭の認定をしてもらい、就学援助してもらうことができた。

3) 留守家庭教室の充実

- ・ コロナ禍にあって、4月からの臨時休校中の開室には様々な課題があったが、留守家庭教室の職員と、幼児教育課と学校が連携を図って進めていくことができた。
- ・ 利用者の減少の理由はわかりますか？
- ・ 保育の充実のための工夫をいただいています。
- ・ 預かり延長の要望はありませんか？

施策 22 家庭教育への支援

1) 幼稚園における家庭教育

- ・ 動画配信での代替事業、とても良いことと思う。
- ・ 乳幼児期の親で子育てで悩んでいる方の実態は？
- ・ 「できることから取り組んでいく」姿勢を大事にしながら、子どもたちや保護者に役立つ活動に取り組んでいくことができた。

2) 小・中学校における家庭教育

- ・ 授業参観等もなかなか実施することができなかったが、通信やホームページを活用して、子どもたちの様子を発信することができた。
- ・ 家庭の教育力向上はとても意義あることです。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、PTAが家庭教育学級の取組として家読（うちどく）の価値を広めていくことができた。
- ・ PTAと青少年推進員等との情報共有がない。

3) P T A活動の推進

- ・ SNSに対する正しい知識や判断・行動力を育成することは最重要課題の一つですので、このような取り組みを通じて、学校も連携していきたいです。
- ・ これも参加者が少ない。P T Aが中心になって活動するのは、今はむずかしいのではないかな。

施策 23 幼・小・中の一貫教育

1) 幼児教育における「遊び」の工夫

- ・ 仲間と「集団で遊ぶ」ことを通して、多くのことを学ぶ機会となると思います。
- ・ 集団で遊ぶことと個々の興味関心に応じた遊びも大切にしたい。

2) 幼・小の滑らかな接続と連携

- ・ 幼小の交流では、一般的には、小学校の先生が幼稚園教育を参観するケースが少ない。小学校の低学年教師が幼稚園教育を参観したり学んだりしたりする機会をきちんと持ちたい。
- ・ 幼小の連携することでより学びがスムーズになることは大変よいことだと思います。
- ・ 幼小をつなぐ、より良い教育を共有していけるようにしていきたいです。
- ・ 幼稚園派遣教員からの講話や、直接話を聞かせていただく中で、幼児教育について関心を持ち、小学校との接続の大切さを実感することができた。
- ・ 「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」はいずれも欠かせないカリキュラム。ぜひ有用性の高いカリキュラムを作成していただきたい。

4) 小・中学校の円滑な接続

- ・ 小中のスムーズな接続ができることは子どもたちにとってもとても意味のある取り組みだと考えます。
- ・ 年度末には、複数の中学校教員が6年生の授業参観を行い、その後に生徒指導交流を図ることができた。
- ・ 中学1年生の入学してから数ヶ月は、つまずきやすいように感じます。出来るかぎり不安を取り除けるようによろしくお願いいたします。
- ・ 6年生が中学校に行くことはできなかった、校長先生や生徒指導主事の講話や、ビデオレター等で中学校の様子を知ることができた。
- ・ 入学説明会だけでなく、就学時健診でも新入生の保護者に小学校生活について講話する時間を確保し、早い時期から啓発を図ることができた。

施策 24 防災教育・安全教育の充実

1) 学校における防災教育・安全教育の充実

- ・ ハザードマップの指導では、実際に学校周辺を歩き、どのような場所が浸水地区や土砂災害地区になるのか、具体的に理解させることが活用につながる。

2) 地域や家庭等と連携を図った防災教育・安全教育の充実

- ・ 安全点検はもちろん大切であるが、上記の安全な乗り方ができていない子どもが多くみられる。この指導も徹底したい。
- ・ 危機管理能力の育成を進めていきたいです。
- ・ 気象警報に対する活用の情報共有がされていない。

3) 地域ぐるみの防災教育の充実

- ・ 常にマニュアルを見直しをしていくことは意義あることだと考えます。

施策 25 園・学校、社会教育施設・環境の整備

2) 小・中学校体育館のエアコン設置

- ・ 学校にとっても熱中症対策としてとてもありがたいです。

3) 備品（学校管理備品・教材備品）や消耗品の整備・管理

- ・ 熱中症対策で中学校にウォータークーラーを設置して欲しいという要望が数年続いているようです。現在の状況は午前中は持参した水筒でお茶を飲み、午後持ってきたお茶を捨てて、水道水を水筒に入れて飲むという方式だったと思います。飲んで良い蛇口が保健室前に限られているので、水を入れる行列が出来るそうです。
- ・ また、学校予算で無駄を省くのも重要ですが、学校側からは予算が足りなくて困っているという相談を受けます。予備費など増やせないでしょうか？PTAで出来る限り協力しています。

4) 安全な登下校のための「通学路点検」「見守りボランティア」

- ・ 通学用の路側帯？が色分けしてありわかりやすいが歩道専用道路の整備を願う。
- ・ 通学路改善会議の説明が欲しい。
- ・ 子どもたちの安心安全を見守りいただき、ありがとうございます。

5) 社会教育施設の整備

- ・ 机の上に置く学用品がタブレットなど年々増えている。子どもは出したりしまったりと大変な様子。今後は学級の定数が削減されるのに合わせて、机の大きさも考えてはどうか。いかにも机が小さすぎる。

施策 26 「チーム学校」の推進と教職員の勤務環境の向上

1) 教職員の適正な勤務時間と業務量の管理

- ・ 学校の先生はいつも残業や休日出勤をして疲弊しているイメージがあります。やるべきことはたくさんあるとは思いますが、さらなる業務改善による負担軽減を期待しています。
- ・ コロナ禍でのボランティア協力は教職員のモチベーションを高めることにもつながっています。ありがとうございます。
- ・ 良い取り組みだと思います。
- ・ 教職員の皆様も助けを求めやすい環境づくりに期待しています。

2) 業務の軽減と一元化を図る校務支援システム

- ・ 幼小中の連携ということでは、このような環境を整備していただけるのは、ありがたいです。
- ・ 便利なツールを使った効率化を期待しています。
- ・ 一元化は業務効率化に重要です。岐阜市、岐阜県など大きい単位での一元化を行い、校務の軽減を図っていただきたいです。同時に前年度からの引継ぎの少なさに不安を感じることがあります。引継ぎで毎年実績を積み上げながら良くしていくことも重要だと思います。こちらも一元化していただきたいです。

3) 中学校部活動における社会人指導者・休養日の設定

- ・ 部活動指導員とは。
- ・ 今後も部活動の在り方について、教育委員会と連携しながら、より良い形を構築していければと考えます。
- ・ 現状はどの程度社会人指導者に移行が進んでいるのか。
- ・ 休養日の設定は守られていますか？

4) 勤務時間を自己管理する働き方の徹底

- ・ 教職員がやりがいを感じる働き方改革を進めていきたいです。

方針3 ふるさとへの愛着と誇り

施策27 「ふるさと本巢市」を学ぶ教育の推進

1) 「ふるさと本巢市」について学びと発信

- ・ 子どもたちの生きる力を育むことにつながっています。
- ・ 本校（真桑小）では、6年生が起業家体験学習を行い、手ぬぐいの図柄を考える活動を通して、ふるさと本巢の素晴らしさを見つめ直すことができた。
- ・ 本巢市は珍しい歴史自然遺産、農業、伝統文化が多いので、非常に面白いと思います。自分たちが育つ町のことをさらに探究していただきたいです。
- ・ 本巢市の自然遺産・伝統文化などを児童生徒の学習に生かし、ふるさとに誇りを持てる人間を育むことができています。
- ・ 校外での活動はできなかったが、校内では自分たちができることを見つけ出し、取り組むことができた。
- ・ 「ふるさと本巢市」についての学習が深化しているほど、発信する意欲が強まり内容も豊かになる。「ふるさと学習」を充実することとリンクしている。
- ・ 対面による手ぬぐいの販売はできなかったが、ネット販売を行い、自分たちの活動を広めていくことができた。

2) 「ふるさと本巢市」の偉人の生き方の学び

- ・ 「高木貞治記念室」の活用をぜひ図っていききたい。記念室内の参観については、高木貞治の生涯についての知識を「読み物」などで事前に身に付けたうえで参観させたい。展示室内の年表を活用してコーディネーター又は担任が展示物と関連させながら説明するのもよい。
- ・ 郷土の先人・偉人についての学習はとても大切。道徳教材になるような「本巢市ゆかりの偉人」としては、金原明善や宇野千代、高木貞治のほかにも何人かいる。調査してテキスト化したい。

3) 「ふるさと本巢市」の文化遺産からの学び

- ・ 根尾谷断層の見学、防災学習、理科学習などから素晴らしい試みである。3校だけでなく、市内全学校の5年生に参観させたい。
- ・ 防災教育の重要性を地元の遺産を通して学んでいくことはとても有意義だと思います。
- ・ 船来山古墳の館の全5年生の見学、大変素晴らしい試み。(1)と(2)は、本巢市の宝。郷土への誇り、愛着も深まる。
- ・ 是非実現してほしい。

施策28 社会参画力の育成・ボランティア教育の推進

1) 「MSJ」「MSキッズ」活動の推進

- ・ あいさつや掃除など、今できることに力を注いでいます。
- ・ 市内では青少年推進員他と連携しながらのあいさつ運動など、できたら学校教育課も参加できませんか？
- ・ 本年度、本巢中学校で認証式を行っていただき、生徒たちの活動に対する意識や意義を感じる機会となりました。

2) 地域行事へのボランティア参加

- ・ 成人式のイベント内容の一つとして地域社会への貢献活動を記録した動画を見せたこと、とても良いと思う。今後も、20歳を契機にふるさとを意識し見つめる機会を設けたい。
- ・ 新成人の方が企画・運営を行い、主体的で地域社会の一員としての自覚と責任を意識できる会を今後も継続していただきたいです。

- ・ 地域貢献活動に市内の子どもたちがどのように取り組んでいるか、互いに動画や写真等を通して交流し合う機会があるとよい。例年同じ活動を繰り返している地区もあると思うが、交流し合うことで、自分たちの活動をさらに有意義なものにしていく契機になるかもしれない。

施策 29 本巢市を担うリーダー育成の推進

施策 30 青少年健全育成の充実

1) 青少年の健全育成に対する効果的な広報・啓発活動の推進

- ・ 青少年の育成に大変ご支援をいただき、ありがとうございます。
- ・ 本校(真桑小)では、少年の主張作文を、臨時休校中の6年生の課題の一つと位置付け、取り組むことができた。
- ・ 「ボランティア手帳」の作成はよいとして、大事なことはその手帳をどのように活用するかということ。
- ・ 早く活動が出来ます様に願います。
- ・ 夏季休業中のラジオ体操や清掃活動も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。
- ・ インターネットやSNSの取扱い方について、家庭への啓発や約束づくりを推進いただけることはありがたいです。
- ・ 強調月間は年に2回あります。7月だけではありません。

2) 子供が行事等の運営に参画し、マナーや社会のルールを学ぶことができるような地域づくりの推進

- ・ 新型コロナウイルスが収束したら、また交流を再開できるとよいです。
- ・ 新成人の方が企画・運営を行い、主体的で地域社会の一員としての自覚と責任を意識できる会を今後も継続していただきたいです。

施策 31 歴史・文化活動の推進

1) 伝統文化の継承と継承者の育成

- ・ 例年クラブ活動の一つとして「真桑文楽」を実施し、真桑文楽保存同好会の方に指導者として来校していただき、児童へ指導していただいているが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部講師は中止した。

2) 各保存会、文化協会、文化団体、サークル等の活動の支援

- ・ 新型コロナウイルス感染の終息後には、できることから再開できるとよいです。
- ・ 文化活動は継続してこそできるといわれます。できる限り文化伝承発展のためには方法を変えてでも実現できることを願う。

3) 先人・偉人の調査・研究や歴史的文化的資料の整備、保護・保存及び有効活用

- ・ 文化財は年々変化するものもあります。必要な物はできる限り現場を多くの目で視察して対応を検討していくことが必要に思います。
- ・ 「船来山古墳群検討委員会」の項目が必要ではないか。結構多くの活動を行っている。
- ・ 本巢市の大切な文化遺産を今後も保存・整備をしていけるとよいです。

4) 文化的な学習機会の充実と語りボランティア等、人材の育成、地域文化の伝承活動の推進

- ・ 郷土の偉人について学び、とても良い機会です。
- ・ 船来山古墳群をはじめ、本巢市の歴史に興味関心が高い児童が子ども学芸員として活躍することができた。